

公開シンポジウムの概要

2021

「オンラインによる発達支援の最前線—発達障害傾向のある子どもと親を支援する—」

日時: 8月22日(日曜) 9時~12時30分

場所: オンライン [Zoomウェビナー]

〈プログラム〉

開会のご挨拶 小玉重夫(東京大学大学院教育学研究科 研究科長)

企画趣旨説明 「今こそ、発達支援Innovation」

下山晴彦(東京大学大学院教育学研究科 教授)

第1部 オンライン支援の現状と課題

◆話題提供1 「海外での自閉スペクトラム症の子どもへのオンライン支援」

黒田美保(帝京大学文学部 教授)

◆話題提供2 「日本の子育て支援におけるオンライン活用の現状と課題」

奥山千鶴子(NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長

認定NPO法人びーのびーの 理事長)

第2部 オンラインによる親支援の新たな試み

◆話題提供3 「“こだわり”のある子どもの親の困難と支援」

野中舞子(東京大学大学院教育学研究科 専任講師)

◆話題提供4 「オンラインによるペアレントプログラムの課題と将来性」

東敦子(帝京大学大学院文学研究科 博士課程)

◆話題提供5 「子育てで“怒り”を感じる親への、アプリを用いた心理支援」

高堰仁美(東京大学大学院教育学研究科 博士課程)

◆研究プロジェクト紹介・協力者募集 [対象: 幼児(2歳~6歳)の保護者]

① 「強迫とこだわり」のある幼児_個別オンライン保護者支援

② 「対人コミュニケーションに躓き」のある幼児_アプリ活用オンライン・ペアレントプログラム

第3部 オンライン発達支援の発展に向けて

◆指定討論 「オンラインによる発達支援への期待」

田中直樹(厚生労働省障害福祉課 専門官)

◆座談会 黒田・奥山・野中・田中 下山(司会)

【閉会の辞】小国喜弘(バリアフリー教育開発研究センター長)

2021年度若手研究者育成プロジェクト成果報告会

日時: 3月19日(土曜) 13時～15時30分

場所: オンライン [Zoomウェビナー]

〈プログラム〉

非母語話者にとって理解しやすい日本語ウェブ文書のデザイン
ーインクルーシブデザインの観点から

韓尚珉 (生涯学習基盤経営コース)

生活に埋め込まれた「差別」に向き合う教育実践の分析

ー水俣芦北公害研究サークルに焦点を当てて

久島裕介 (基礎教育学コース)

長戸光 (基礎教育学コース)

佐野良介 (教職開発コース)

道徳基盤理論の理論的展望と課題

眞田英弥 (教育心理学コース)

日本における成人移民を対象としたインクルーシブな職業訓練の検討

ー在日ブラジル人コミュニティ内で展開されるパティスリー講習に着目して

ヨシイ・オリバレス・ラファエラ (比較教育社会学コース)

2022

「誰もが来たくなる大学」を目指した多様な知性の創出ーK Y O
S S (東京大学教育学部セーフアースペース) とオールジェンダ
ートイレの開設記念シンポジウム

日時: 4月3日(日) 13:00～15:15

場所: オンライン [Zoomウェビナー]

〈プログラム〉

第一部 記念式典

第二部 ①東大生のいま

大塚類 (教育学研究科准教授)

登壇者: 近森由佳 (教育学研究科修士2年) / 慎允翼 (人文社会研究科修士1年) /

青木門斗 (教養学部3年) / 田島史織 (教育学部3年) / 鈴木健 (同3年)

二部 ②キャンパスの包摂性・多様性の現状と展望

登壇者：星加良司（教育学研究科教授）／大塚類（同准教授）／清水晶子（総合文化研究科教授）／井芹真紀子（教養学部特任助教）／飯野由里子（教育学研究科特任准教授）

閉会の辞

小玉重夫（教育学研究科長）

虐待と向き合う児童相談所の新たな役割と可能性―地域における安心の子育て支援の基盤整備に向けて―

日時： 8月28日（日曜）9時～12時

場所： オンライン [Zoomウェビナー]

〈プログラム〉

[総合司会] 能智正博（東京大学大学院教育学研究科 教授）

[ご挨拶] 小国喜弘（東京大学大学院教育学研究科 教授；
同大学院附属バリアフリー教育開発研究センター長）

[企画趣旨説明] 下山晴彦（東京大学 名誉教授／跡見学園女子大心理学部 教授）

第1部 児童相談所の発展に向けて

1. 地域における児童相談所の役割

古川 康司（中野区児童相談所長）

田中 淳一（中野区児童相談所 企画調整係長）

2. 社会的養護から見た児童相談所への期待

高田 治（児童心理治療施設 川崎こども心理ケアセンター かなで 職員育成支援部長）

第2部 現状と課題

3. 児童相談所の現状と実務の課題

山本 恒雄（愛育研究所 客員研究員）

4. データから見る児童福祉政策の課題

和田 一郎（獨協大学 国際教養学部 教授）

第3部 課題解決に向けて

5. 児童虐待対応におけるDXとデータ利活用

高岡 昂太（株式会社AiCAN 代表取締役）

6. 臨床心理学からの統合的児童相談モデルの提案

下山 晴彦（跡見学園女子大学 教授）

第4部 総合討論（司会：下山晴彦）

古川 康司、田中 淳一、高田 治、山本 恒雄、和田 一郎、高岡 昂太

2022年度若手研究者育成プロジェクト成果報告会

日時: 3月17日(金曜) 18時～21時

場所: ハイブリッド

〈プログラム〉

ろう者と聴者の協働による演劇活動の研究: デフ・パペットシアター・ひとみに着目して

清重 めい (教職開発コース)

若林 陽子 (教職開発コース)

永杉 理恵 (教職開発コース)

阿部 めぐみ (教職開発コース)

自閉スペクトラム者の性別違和体験に関する質的研究

霜山 祥子 (教育心理学コース)

異性愛者である心理支援者は同性愛者と自己をいかに位置づけるか

太齋 慧 (臨床心理学コース)

文化的・言語的に多様な背景を持つ子どもたちに関わる保育者のペダゴジー:

文化保育のエスノグラフィー

長江 侑紀 (比較教育社会学コース)

教師の授業観からみた数学授業における包摂についての心理学的検討

吉田 知世 (教育内容開発コース)

稲村 健 (教育内容開発コース)